

自立支援センターおひさま 地震避難訓練

1. 目的

地震を想定した避難訓練を実施し、職員、子供の防災意識を高める。また、事前の指導によって子供がパニックを起こさず、スムーズに避難を行えるようにする。

2. 実施日

令和元年6月10日(月)

3. 参加者

職員：職員5名

児童：14名

避難場所

施設内駐車場 (不知火支所への移動を想定)

4. 指導計画

	指導	支援・配慮・その他留意事項
事前指導	・自信が発生した際の身の守り方や逃げ方、注意事項を説明する。	・「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」のルールを、イラストを使って具体的に説明する。 ・言葉での理解が難しい子供に対しては、個別に分かりやすく指導を行う。
避難訓練	・地震発生を受け、初期対応を行った後、揺れが収まってから戸外への避難を行う。	・職員割り振り 避難誘導・点呼： 火元等安全確認： 子どもの安全確認・報告： ・初期対応では体を丸め、頭部を手で守るよう指示する。机の下にもぐる。 ・避難の際には、それぞれ荷物で頭部を守りながら移動する。 ・戸外に出たら、二列で並び職員の指示があるまで私語がなく待てるよう留意する。
事後指導	・全体で振り返りを行う。	・感想や怖かったことなどを発表させ、配慮点の汲み取りを行う。

5. 反省・課題・対策

所感	子どもの様子
熊本地震から3年経つが、子ども達と一緒に防災について考える時間を取れたのは良かった。地震に対する意識は予想以上に高かった。	熊本地震を経験した子たちなので、地震の避難訓練は真剣に取り組むことができていた。防災意識も高く、初期対応の知識も高い子がいた。